

記者資料提供（平成22年12月9日）

阪神淡路大震災1. 17のつどい実行委員会

TEL：078-321-3921（事務局）

協働と参画のプラットフォーム（市民参画推進局参画推進部地域力強化推進課）

TEL：078-322-6491 内線2273 江坂・池上

E-mail：community@office.city.kobe.lg.jp URL：http://www.kobe24.jp

「阪神淡路大震災1. 17のつどい」の開催について

◆趣 旨◆

阪神・淡路大震災から16年が経過するにあたり、亡くなられた方々の慰霊と鎮魂、そして震災から生まれた「きずな・支え合うところ」を次世代に語り継いでいくため、市民と市の連携により、13回目となる「阪神淡路大震災1. 17のつどい」を開催します。

◆日 時◆

平成23年1月17日（月） 5時～21時

◆場 所◆

東遊園地（神戸市中央区加納町6丁目）

◆内容（実施団体）◆

1. 竹灯籠「つどい1. 17」（神戸・市民交流会）
別紙1のとおり
2. 「1. 17希望の灯り」分灯（慰霊と復興のモニュメント運営委員会、NPO法人阪神淡路大震災「1. 17希望の灯り」）
別紙2のとおり
3. 神戸市震災16年追悼の集い（神戸市行財政局行政監察部庶務課）
別紙3のとおり
4. その他の主な行事
別紙4のとおり

◆ボランティア募集◆

実施にあたり、前日の準備・当日の運営補助・翌日の撤収作業のボランティアを募集します。

16日（日）：15時～18時 作業内容：竹並べ・雪地蔵設置

17日（月）： 4時～ 7時 作業内容：ロウソク配布・準備など

15時～18時 作業内容：ロウソク配布・準備など

18日（火）： 9時～終了まで 作業内容：竹・雪地蔵の撤去・後片付け

※各日とも当日、東遊園地にて受け付け（軍手・長靴・雨具等は各自持参のこと）

◆これまでの開催経緯◆

別紙5のとおり

◆参加・協力・連携団体一覧◆

別紙6のとおり

竹灯籠「つどい1. 17」

亡くなられた方々を追悼し、震災から生まれた支え合う「こころ」を次世代に伝え
 広げるため、東遊園地グラウンドで各地からいただいた竹灯籠を**1995 1. 17**の形
 に並べ、ロウソクに点灯します。

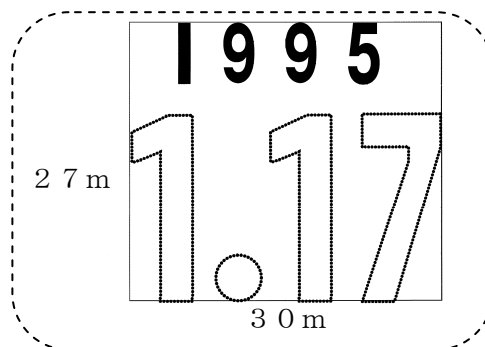
当日は午前5時の点灯から21時の終了時間まで随時点灯していただけます。多くの
 方々にお越しいただき、皆さんの手でロウソクに点灯していただくようご案内します。

ロウソクづくり 12月9日(木)、11日(土)、14日(火)、16日(木)、18日(土)
 場所：摩耶埠頭公園 時間：10時～15時

竹 灯 籠



1月16日(日) 15:00～ 竹並べ
 1月17日(月) 4:00～ 水張りチェック、ロウソク浮かべ
 5:00～ 「1.17希望の灯り」から分灯
 その後、参加者による点灯
 5:46 黙禱
 ※終了時間まで随時点灯していただけます。
 16:00 消灯して点検後点灯
 17:46 黙禱
 21:00 終了
 1月18日(火) 9:00～ 後片付け



竹・ロウソク協力団体・個人

兵庫県下各社会福祉協議会（豊岡市、三木市吉川支所、宍粟市、神河町、市川町、上郡町、新温泉町、太子町）
 佐用町まちづくり課、三木市ユネスコ協会、服部緑地「竹レンジャー」、島本竹工房、環境グループわかば会、災
 害支援ボランティアネットワーク「なまず」、パナソニック半導体労働組合半導体支部松愛会、ユニットピアささや
 ま、パナソニックグリーンボランティア、相生市・山岡伸一、丹後市・吉岡功光、塚本昌子、宇津寛
 山形県リトルライトネットワーク・安藤竜二、山形県酒田市社会福祉協議会平田支部、山形県立南陽高等学校、
 八木文明・山形東高等学校・山形西高等学校・寒河江高等学校・山形聾学校、生涯学習施設里仁館、山形県・高
 堂町内会・たつのご保育園、カトリック宝塚教会、神戸バプテスト教会、日本キリスト教団天満教会・泉北梅教
 会土曜学校、大阪キリスト教短期大学、京都ノートルダム女子大学、(株)三愛メモリアル、(株)神戸ポートピアホテ
 ル、(株)平安、金木山雲祥寺、NPO法人いきいき、福岡市妙安寺、立正佼成会大阪教会・神戸教会・豊中教会・
 姫路教会・泉州教会、信如宛、宇治市・馬竹操男、高槻市・嶋田賢晃、名古屋市・棚田康明、枚方市・今堀浄、
 富国生命保険相互会社神戸支社、神戸市・末永山彦・蜂須賀成子、姫路市・大本はりま本苑、吹田市・山本香一
 郎、島本町・津田玲子、埼玉県・森英二

【お問合せ】神戸・市民交流会 中島正義

TEL 090-3030-2145

「1. 17希望の灯り」分灯

1. 17 あの阪神・淡路大震災は、一瞬にして六千余人の尊い命を奪いました。

私たちは多くのものを失いましたが、忘れていた大切な『ころ』を思い出しました。

国籍や宗教、所属や肩書きなどの違いを乗り越え、家族や隣人、地域でお互いに支えあった一つの証として、私たちのまちの公園や街角、学校などに「モニュメント」「慰霊碑」「追悼碑」が個人や自治会、学校、企業、行政などによって建立されています。

これらは、亡くなられた方々への慰霊とともに、あの震災体験を語り継いでいこうという意思の表明でもあります。

私たちは、これらの「震災モニュメント」に込められた思いをむすびつなぎ、生きていてよかった、生まれてよかったと思える街をみんなで作っていかうとの思いから、「モニュメント」「慰霊碑」「追悼碑」を印した「震災モニュメントマップ」を作成し、そこを訪れる「震災モニュメント交流ウォーク」を開催してきました。



震災5周年にあたる2000年の1月17日神戸市役所南隣の東遊園地にモニュメント「1.17希望の灯り」を建立し被災10市10町の方々、県外に避難された方々、そして震災時駆けつけてくださった全国のボランティアにも呼びかけ「火」を集め、それを一つにして「1.17希望の灯り」にともしました。

2001年1月17日からは、この「希望の灯り」が市民ランナーの手によって全国47都道府県69都市に届けられました。

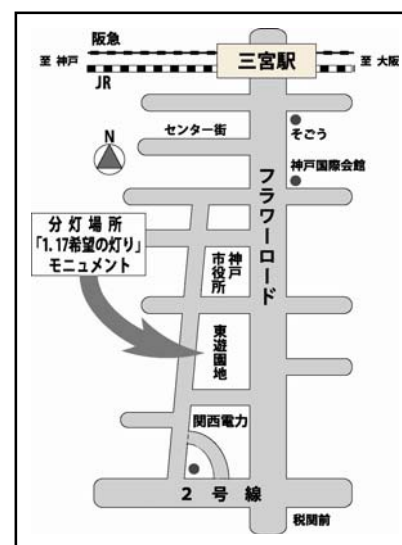
あの日あの時から 16年、あの震災の時の支え合う心を忘れないためにも、みなさんの地域で「1.17希望の灯り」をともしませんか。

記

期 日：1月10日(月)※午後のみ、12日(水)、14日(金)、16日(日)、17日(月)

時 間：午前の部…10時 午後の部…14時

分灯場所：東遊園地「1.17希望の灯り」モニュメント



【お申し込み・お問い合わせ先】

「慰霊と復興のモニュメント」運営委員会
NPO法人阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」

担当：白木・大下(NPO法人 阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」)

〒652-0865 神戸市兵庫区小松通3丁目2-1 2階

TEL：(078)682-1117 FAX：(078)682-1227

記者発表資料（平成22年12月9日）
行財政局行政監察部庶務課 山下、中田
TEL：078-322-5062 内線2411
E-mail: gyouzaisei_syomu@office.city.kobe.lg.jp

「神戸市震災16年追悼の集い」の実施について

◆趣旨◆

平成23年1月17日に、ご遺族、市民のみなさんと市の連携により開催されます「阪神淡路大震災1.17のつどい」におきまして、神戸市では、震災で亡くなられた方々を追悼し、また、震災から生まれた「きずな・支え合う心」を次世代へと語り継いでいくため、「神戸市震災16年追悼の集い」を開催いたします。

「慰霊と復興のモニュメント」周辺に記帳所・献花所を設置し、早朝には献花式を行います。

◆日時◆

平成23年1月17日（月）5時～21時

◆場所◆

慰霊と復興のモニュメント周辺（東遊園地内）

◆内容◆

- ご遺族、市長による追悼の言葉と献花（5時46分頃～）
- 記帳所と献花所の設置（献花用の花は会場で配布します。）（5時～21時）
なお、記帳所は、各区役所、支所、出張所、連絡所にも設置します。（9時～17時）

※ なお、その他詳細につきましては、決まり次第、後日改めて発表いたします。

その他の主な行事

◆雪地藏設置（阪神淡路大震災 1.17 のつどい実行委員会）

東遊園地において、鳥取県江府町から提供を頂いた雪で雪地藏を制作します。

◆独唱「しあわせ運べるように」（阪神淡路大震災 1.17 のつどい実行委員会）

「神戸市震災 16 年追悼の集い」に先立ち、森祐理さんが「しあわせ運べるように」を歌います。

◆メッセージボード設置（阪神淡路大震災 1.17 のつどい実行委員会）

震災 16 年にあたり、それぞれの想いを記していただけるようメッセージボードを設置します。

◆「1. 17」窓明かり文字（神戸関電ビル 1. 17 ライトアップ有志）

東遊園地南隣の神戸関電ビルの窓明かりによる「1. 17」の文字をビル壁面に作ります。

点灯時間：1 月 17 日（月）5 時 46 分、17 時 46 分の黙祷に合わせて点灯。

担当：武市 泰夫（総務・広報グループ）078-220-0085

◆炊き出し等

- ①豚汁の提供（主催：神戸・市民交流会、協力：コープ山手ラベンダー、生田地区更生保護女性会、丹南有機農業実践会）

6 時～（提供予定：1000 食）

- ②ぜんざいの提供（給食ボランティア会）

18 時～（提供予定：800 食）

- ③お粥の提供（紀州梅の郷救助隊）

6 時～（提供予定：1,500 食）、18 時～（提供予定：500 食）

担当：高砂 春美 0798-31-1233

- ④コーヒーの提供（スターバックスコーヒー・ジャパン関西地区有志）

寒い中、会場へ来られたみなさんへ、おもてなしの心を込めて、関西地区の社員が少しずつ集めた豆で淹れた温かいコーヒーをお配りします。

5 時～（提供予定：1,500 杯）、17 時～（提供予定：1,500 杯）

担当：恩田 和英（神戸国際会館 SOL 店）078-230-3339

- ⑤チャイ（紅茶）・カレーの提供（ヒューマンティ ファースト）

チャイ：7 時～（提供予定：600 杯）、カレー：11 時～（提供予定：400 食）

担当：アヤズ 052-703-1868

◆阪神淡路大震災 1. 17 のつどいパネル展（神戸市社会福祉協議会）

震災や 1. 17 のつどいを紹介するパネルの展示を行う。

担当：小池 裕 078-271-5306

◆1. 17 震災メモリアルサイクリング（神戸市民自転車同好会）

1 月 16 日に、被災地にある「震災モニュメント」を自転車で駆け巡り、鎮魂の祈りを捧げるメモリアルサイクリングを実施します。

1 月 16 日（日）9 時東遊園地を出発。常光院・西灘小学校・西灘公園・求女塚古墳・魚崎わかばサロン経由で東遊園地へ

担当：祇園 明敏 078-981-3001

「阪神淡路大震災 1.17 のつどい」現在に至る経緯

平成 22 年 12 月 9 日

《竹灯籠はじまる》

平成 10(1998)年 1 月 17 日、被災された方々を中心に結成されたボランティアグループ「神戸・市民交流会」が中心になって、震災時避難所であった中央区の旧吾妻小学校(現：コムスタこうべ)で、震災 3 周年を機に、追悼やこれからの復興に祈りを込めて、「つどい 1.17」を開催しました。

この行事では、但東町の社会福祉協議会の呼びかけによりボランティア団体から寄せられた 6,434 本の竹筒に水を入れ、ろうそくを浮かべて、「1.17」の形に並べ、早朝 5 時 46 分に全員で黙とうをささげました。また、明石天文台の復活イベントとの連携もはかられました。

翌平成 11(1999)年 1 月 17 日からは、市内外の社会福祉協議会やボランティア団体の協力により竹筒が集められ、神戸市役所南隣りにある東遊園地に場所を移し、早朝 5 時 46 分に「1.17」の形に竹灯籠の灯りをともし、夕方 5 時 46 分には“KOBE”の文字を追加し、「1.17KOBE」の形に灯りをとます形式になりました。このときの灯りは、その後、再度山の大龍寺でお灯明として灯され続け、翌年のつどいまで 1 年間保存されることになりました。

また、市内各所でも、「1.17KOBE に” 灯り” を in ながた」など、灯りをとます行事が開催されました。

《「慰霊と復興のモニュメント」と「希望の灯り」》

平成 12(2000)年 1 月には、東遊園地の一角に「慰霊と復興のモニュメント」が完成し、1 月 16 日に除幕式が行われましたが、この建設に至る経緯は、平成 8 年度にさかのぼります。

震災を後世に伝えるものが必要との声を受け、平成 8 年 9 月に「慰霊と復興のモニュメント設置懇話会」を開催し、基本コンセプト等について検討を重ねました。その結果、犠牲者の慰霊と市民への励まし、震災からの復興、大規模災害に対する世界的規模での連帯による意義という 3 つの基本コンセプトと、設置場所は市の中心部であり市民に親しまれている東遊園地がふさわしいこと、建設資金については広く募金を呼びかけその浄財を活用するという意見をいただきました。

この懇話会意見に基づき、平成 9 年度に「慰霊と復興のモニュメント設置検討委員会」を開催し、指名コンペによる作家選定を行った結果、京都在住の現代芸術家の楠田信吾氏に決定しました。

翌平成 10 年 10 月に、モニュメント建設の趣旨普及と広報、建設資金の募金活動を目的として「慰霊と復興のモニュメント設置実行委員会」を発足させ、平成 11 年 9 月まで広報及び募金活動を展開した結果、159,130,809 円の募金が寄せられ、広報等の委員会運営費を引いた 151,630,809 円が神戸市に寄付されました。

また、楠田氏の当初の計画には含まれていませんでしたが、「1.17 のつどい」の実施団体より、つどいにおける「火」をいつまでも保存したいとの要望があり、意匠や設置場所の検討を楠田氏に依頼し、モニュメント建設にあわせて制作することとなりました。これが「1.17 希望の灯り」です。

そこに灯されている灯りは、平成12年1月17日の「つどい1.17」の竹灯籠の灯り（これは昨年のつどいの灯りを1年間保存していただいた大龍寺のお灯明の灯りです。）に加え、被災10市10町を巡って運んだ種火と47都道府県から寄せられた種火を一つにして、つどいの当日に点灯式が行われました。

こうして「1.17 希望の灯り」は設置後、被災した市民にとっての精神的な拠り所になり、被災地以外からも数多くの方々が訪れる場となっています。また、毎月17日には、自主的に清掃などが行われるようになり、被災10市10町だけでなく、遠方の都市へも、震災や灯りがむすぶ絆に関連した行事などによって、分灯され続けています。

《平成13(2001)年1月17日》

東遊園地では、「市民のつどい1.17」「1.17希望の灯り分灯事業」「神戸市震災6周年追悼の集い」が、一部連携しながら同時に開催されることとなりました。「1.17希望の灯り」は、被災地10市10町にも分灯され地域で燈されるようになりました。また、「灯り」は市民ランナー50名により、全国69都市に感謝の気持ちをこめてリレーされ、下関市には、「灯り」の永年保存施設が設置されました。

《平成14(2002)年1月17日》

東遊園地全体を「阪神淡路大震災1.17のつどい」とし、ご遺族・ボランティアを中核に、行政がそれをサポートする形態で実施されました。

《平成15(2003)年1月17日》

被災地はもとより全国各地で「1.17希望の灯り」が燈されるようになり、神戸だけの行事ではなくなったので、竹灯籠による「1.17KOBE」の文字は「1.17」だけになりました。

《平成16(2004)年1月17日》

平成15年12月17日と平成16年1月17日には「慰霊と復興のモニュメント」に神戸市外で亡くなられた方々や震災が遠因となって亡くなられた方々98名の銘板を新たに掲示しました。竹灯籠も震災で亡くなられた方々の人数を超える約7,000本で「1.17」の形をつくりました。

《平成20(2008)年1月17日》

阪神・淡路大震災で亡くなられた方々の慰霊と追悼、並びに大切な「いのち」を守るため、震災から生まれた「きずな・支え合う心」と「経験と教訓」を、より多くの人々に語り継ぐ「阪神淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

《平成21(2009)年1月17日》

震災から14年を経た今、神戸市に住む人のうち1/3が震災後に生まれた方々となっています。

震災で亡くなられた方々の慰霊と追悼、震災から生まれた「きずな・支え合う心」と「減災」への取り組みの必要性を次の世代・震災を知らない子どもたちに伝えていくため、「阪神淡路大震災1.17のつどい」を開催しました。

《平成22(2010)年1月17日》

震災から15年が経過した今年は、震災を風化させない取り組みとして、自宅等での灯り点灯の呼びかけや震災15年の想いを記すメッセージボードの設置、モニュメントプレートの設置、雪地蔵の制作等を新たに行いました。また、全国各地のこれまでお世話になった方々をこうべ市民福祉交流センターに招き、交流会を開催しました。

阪神淡路大震災 1.17 のつどい

平成 22 年 12 月 9 日現在

参加・協力・連携団体一覧

- ・竹灯籠「つどい1. 17」
神戸・市民交流会
神港学園神港高等学校硬式野球部
竹・ロウソクの提供：県内の各社会福祉協議会など
- ・「1.17 希望の灯り」分灯
慰霊と復興のモニュメント運営委員会
NPO 法人 阪神淡路大震災「1.17 希望の灯り」
- ・「神戸市震災 16 年追悼の集い」
神戸市行財政局行政監察部庶務課
- ・「1. 17」窓明かり文字
神戸関電ビル 1.17 ライトアップ有志
- ・炊き出し等
神戸・市民交流会（協力：コープ山手ラベンダー・生田地区更生保護女性会・丹南有機農業実践会）
給食ボランティア会
紀州梅の郷救助隊
スターバックスコーヒージャパン関西地区有志
ヒューマニティ ファースト（国際ボランティア団体）
- ・テントの設営、片付け等
ユニバーサルボランティア神戸
中央区ボランティアセンター
- ・交流テント
NPO 法人阪神淡路大震災「1.17 希望の灯り」
- ・「阪神淡路大震災 1.17 のつどいパネル展」
神戸市社会福祉協議会ボランティア情報センター
- ・震災メモリアルサイクリング
神戸市民自転車同好会
- ・雪地蔵提供
鳥取県江府町
- ・会場運営協力・設営
枚方市職員ボランティアの会
サンフラワーフレンズ 21
KOB E 観光ガイドボランティア
中央区老人クラブ連合会
- ・会場警備等
B L S K O B E